



# 指扇中だより



蓮の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX 048(624)2479

## 『紅 蓮 華』



校長 おおこうち のりかず 大河内 範一

漫画『鬼滅の刃』が、5月の連載終了から1ヶ月以上経過したが、その人気はうなぎ登りだ。関連商品が次々に発売されるなど、まさに爆発的なブームになっている。私は、『鬼滅の刃』の存在を知った時、スマホでなんとなく検索する程度だった。初めの頃は、主人公たちが着ている色鮮やかな法被（はっぴ）の模様や、登場する鬼たちの奇妙奇天烈な容姿のデザインに興味をもつだけだったが、テレビ番組の動画配信をまとめて視聴したり、実際に漫画を読み進めたりするうちに、次第にストーリーに引き込まれていった。そして今では、法被の模様に似た柄の布を購入し、手作りマスクにしてもらって身に付けるなど、ちょっとしたファンになっている。

『鬼滅の刃』のざっとしたストーリーは、ネット上の文章を総合すると「人食い鬼が住む大正時代を舞台に、主人公の炭治郎（たんじろう）が家族を殺した鬼と戦いながら、鬼に変貌してしまった妹を人間に戻すために、鬼を討つ仲間たちと共に剣士として戦っていく姿を描いたダークファンタジー」というような感じである。単純明快で非常に分かりやすい。

また、『鬼滅の刃』の人気秘密についてもいろいろと分析されているが、主人公の炭治郎が過酷な運命の中でも決して希望を捨てずに、強い信念をもって戦い続ける姿、というのが一番であろう。また、敵として登場する残虐で憎たらしい鬼たちにも、それぞれ悲しく切ない人生（鬼生？）があり、それがていねいに描かれている。そして、人に退治され、この世から消えかけている鬼に対しても、炭治郎は優しい言葉掛けをしたり、その鬼が生前に大切にしていたものを傍に置いてあげたりするのだ。どんな酷い目にあっても、どんな状況に置かれても、常に前向きで、明るさや優しさを忘れない炭治郎の姿から、我々は学ぶことがたくさんある。私もいつか炭治郎のような立派な人間になりたいと思っている。

さて、漫画の世界から我々が住む現実の世界へと目を向けてみよう。新型コロナウイルスにたまたま感染してしまった人への偏見やいじめ、スーパー店員や配達員への心ない言動、匿名をいいことにSNS上での激しい誹謗中傷……。なんということか。どれもこれも優しさの欠片もなく、鬼より酷いじゃないか。

ねえ、炭治郎。その日輪刀で、こんな卑劣な行為や醜い心をバツサリと切ってくださいな。